

もし、空を飛べないのなら
海の中を飛べばいい。

みんな友だち



製作・著作
アニメーション画房 わ組
ジャパンホームビデオ(株)

アニメーション 15分
16mm 価格 ¥ 150,000 (税別)
VHS 価格 ¥ 50,000 (税別)
幼稚園・学校価格 ¥ 30,000 (税別)



悩み疲れたペンギンが気付いた自分の可能性…。
いじけ、いじめ、そして友情。
ペンギン、カモメ、カラス、海亀&神様が
おりなす生きるチカラの物語。



☆あらすじ

自分のことをペンギンと知らないプウは、カモメたちが、自由に空を飛んでいるのを見て、うらやましく思います。どうにかして、空を飛ぼうとするプウを見て、カモメたちは、「そんなちっちゃな羽で飛べるわけない」「ふとっちょだし、足短い」とからかいます。カラスのクロは、応援するのですが、終いには諦めさせようとします。何度挑戦しても、いっこうに飛べる気配がありません。クロはつきあってられないと飛んでいってしまいます。

プウは、同じ鳥の仲間なのにどうして飛べないのかと、思い悩み泣き出してしまいます。そこへ老海亀が来て、泣いているプウに涙を訊ねます。海亀は、プウがペンギンであり、空を飛べない事を教えます。プウは、同じ鳥なのにカモメは飛べて、ペンギンは飛べないなんて、不公平だと言います。海亀は、カモメ、カラス、ペンギン…それぞれ出来ることや出来ないことがありそれを比べてはいけないと諭します。プウは、どうしてペンギンなんかに生まれてきたのかと、海亀に聞きますが、神様にでも聞いてみなと去ってしまいます。

プウは、また飛ぶ練習を始めます。そこへカモメたちがやって来て、飛べないプウをいじめます。クロに助けられたプウは、自分だって飛んでみたい！と高い崖から再度飛ぶ練習を始めます。海の中に落ちたプウは、沈みながら光に包まれ、浮いている自分に気がつきます。そこへ神様が現れ、ペンギンは、海の中を飛び回れる事を教えます。泳ぎ回れるプウはうれしくなってしまいます。

心配していたクロもびっくり！カモメたちは、尊敬の眼差しです。

ある嵐の日、カモメのミミは、キキが帰って来ないと心配そうに、プウに言います。プウは、捜して来ると大きな波がうねる海の中へ飛び込みます。プウはやっとの事でキキを捜し出します。キキは、嵐が続いて食べ物を探れず、みんな何も食べていないので、食べ物を捜しに嵐の海を飛んでいたとプウに話します。キキは、海の中を飛べるプウがうらやましくなります。助け出したキキをミミの元に連れて行くと、カモメたちは、口々にプウの事を、誉めるのでした。

今まで、いじめていたカモメたちは、プウに謝ります。プウは、カモメたちのために、食べ物を捕って来ると海の中へ飛び込みます。食べ物を捕って来てもらったキキは、プウを笑ったり、いじめていたのに何で助けてくれたの？と問います。プウは、友だちだから…同じ鳥の仲間だからさ！と言うのでした。

挿入歌 手のひらを太陽に
作詞 やなせたかし
作曲 いすみたく
合唱 杉並区立桃井第4小学校
武内享子先生と4年2組のみなさん

●お問い合わせ・お申し込み

(映) 有限 博映商事 会社

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1丁目3番31-220号
TEL. (092)741-0306 (代表)
FAX. (092)741-6628